

子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター（県立図書館内） TEL 055-255-1040 <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>



○県内文庫活動紹介○

高源寺文庫

2010年に惜しまれつつ閉館した高源寺文庫が2024年に再開しました。文庫の現在の様子を高源寺文庫代表 齊藤洋子さんに伺いました。

〈文庫を始めたきっかけと再開について〉

1979年に、毎週子どもたちを連れて県立図書館の子ども室に通っていた私に、浅川玲子氏が声をかけてくださり、当時住職だった夫の協力で寺の待合室に本箱を並べて文庫を始めました。

14年前に閉館した文庫の本がそのまま残っていたことや、現住職の希望で文庫の再開を決意しました。司書である娘と、娘の元同僚の2人が1年間毎週訪れ、本の整備や再開の準備に協力してくれました。以前は水曜日に開館していましたが、平日は保護者や子どもたちが忙しいため、毎週土曜日に開館することにしました。

〈文庫の利用方法について教えてください〉

在住市町村や年齢は問わず誰でも利用できます。貸出は1人5冊まで、期限は2週間です。借りるときは、貸出カードに本のタイトルと借りる日を記入してください。返すときに「高源寺文庫」のハンコを押します。貸出カードのページがいっぱいになるとプレゼントがあります。

〈本は何冊ほどありますか？〉

子ども向けが約3,000冊、大人向けが約900冊、雑誌が4タイトルあります。文庫の再開にあたり、伊藤忠記念財団の助成金を活用し、新たに子どもの本約200冊を購入しました。



図3〈文庫内の様子〉



図1〈高源寺文庫入口〉



図2〈伊藤忠記念財団の助成金で新たに購入した本(上段)〉

〈文庫の利用者層や人数は？〉

地域の大人や親子が多数利用しています。甲府市外から来る人もいます。毎回10～20人ほどが来館しています。

〈文庫と図書館との違いは？〉

文庫は小さくて蔵書数も少ないですが、地域の人たちが歩いて来られる場所にあります。また小さい子も周りに気を使わず自由に過ごせます。

〈これからに向けて〉

地域の方が気兼ねなく来られるような場所にしていきたいです。また定期的におはなし会などのイベントを開きたいです。

◇◆アクセス◆◇

高源寺文庫 〒400-0042 甲府市高畑1-20-22 TEL:055-224-6931

開館日時 毎週土曜日：午後2時～午後5時

2021年に甲府市朝氣に駄菓子屋を併設したハルノナ文庫がオープンしました。文庫の取組やおはなし会の様子について、ハルノナ文庫代表の島津はるみさんに伺いました。



図1〈駄菓子屋シマツと文庫入口〉

図2〈看板〉

〈文庫の活動内容は？〉

在住市町村や年齢は問わず、誰でも利用でき、絵本や物語を読むことができます。貸出は、1人3冊まで、期限は2週間です。人気の本は、「おばけずかん」、「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズです。

〈おはなし会について教えてください〉

おはなし会は、毎月第4土曜日に開催しています。1回30分程度で、前半は読み聞かせ、後半では工作を行っています。楽しい会を目指しています。

○2月22日のおはなし会プログラム○

『おさる日記』（和田 誠／文 村上 康成／絵 偕成社 1994年）

『ケーキがやけたら、ね』（ヘレン・オクセンバリー／さく

せな あいこ／やく 評論社 1995年）

手遊び：あたまかたひざぼん

大型絵本『あなたがとってもかわいい』

（みやにしたつや／作絵 金の星社 2016年）

工作：ポンポンのアイスチャーム

〈これからに向けて〉

文庫は気軽に来られる身近な存在。その人のタイミングに合わせて来られるよう、いつも開いているように続けていきたいと思っています。子どもだけでなく、大人の方もぜひ来てください。

〈文庫を始めたきっかけは？〉

長男の小学校入学時から、学校の読書ボランティアに参加しています。以前から絵本が好きで集めており、皆さんに読んでほしいと思い、かつて義母が駄菓子屋を営んでいた場所に家庭文庫を開きました。運営には、読書ボランティアのメンバーも協力してくれています。子どもたちの居場所になればと思っています。



図3〈文庫の様子〉



図4〈おはなし会の様子〉

◇◆アクセス◆◇ ハルノナ文庫

https://www.instagram.com/harunona_bunko/

〒400-0862 甲府市朝氣1-13-22 TEL:055-233-4605

開館日時 火・木曜日：午後3時～午後6時

土曜日：午後2時～午後6時

文庫に興味を
持った方へ

伊藤忠記念財団子ども文庫助成事業のご案内

伊藤忠記念財団では、子どもたちに対し読書啓発活動を行っている子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等、及び個人（活動年数3年以上）に対し、子どもの本購入費助成（助成金30万円）を行っています。また、『子どものための文庫の手引き』を作成しています。（4月中にPDF公開予定）詳細は、財団のwebサイトをご覧ください。

<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/#library>